



学校だより



青梅市立東小中学校
令和6年度 第5号
令和6年8月30日

2学期に成長しよう！

校長

25日間の夏休みが終わり、児童・生徒が学校に登校して2学期が始まりました。久しぶりに会った児童・生徒たちは、日に焼け、少し大きくなったような気がします。寮生活の中で、様々なことを体験して成長したのだなと感じています。寮の先生方のご指導に感謝申し上げます。

さて、2学期は一番長い学期になりますが、学校では様々な行事があり、児童・生徒が大きく成長する学期でもあります。毎日の学習をはじめ、それぞれの行事に自分の目標をもち、目標の達成のために努力して欲しいと思います。

先日の関東少年水泳大会や寮対抗水泳大会では、早速、児童・生徒たちが力を発揮してくれました。自分の目標に向けて一生懸命に泳ぐ姿は、見ていてとても美しく感じました。また、泳ぐ選手たちを応援する寮の仲間たち、一緒に頑張っているのだなという一体感を感じました。大会や試合では勝ち負けが付きますが、それ以上に、自分と向き合っ、自分のやるべきことに全力を尽くしてやりきっていくことの大切さを学んだことと思います。2学期はまだまだ始まったばかりですが、これからも学園、寮、学校が一体となって連携を取って児童・生徒たちの教育を進めていきたいと思っています。これからも皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

下記に始業式での校長の話を紹介いたします。

おはようございます。いよいよ今日から2学期が始まります。校長先生からは、2学期の始まりにあたって皆さんへのお願いを話します。皆さん、夏休みは25日間ありました。寮での生活は充実したものになりましたか。校長先生は、皆さんがサマーキャンプに行くのを見送りました。その時、皆さんの姿には、これから頑張っ、こようというはつらつとした姿と笑顔を見ることができました。そして、3日間のサマーキャンプを終えて学園に帰ってきたとき、バスから降りてきた皆さんの姿には、やりきったという表情が出ていました。きっと、それぞれの寮でやるべきことをしっかりと取り組んできたのだなと感じました。頑張りましたね。

さて、今日から2学期が始まります。2学期は1年間の中で一番学校がある学期です。毎日の学習のほかに、たくさんの行事があります。水泳大会や運動会、作品展、クラブの関東大会や文化祭などです。これらの大きな行事は、その時だけ頑張ればできるというものではありません。皆さんが、毎日の学習の中で身に付けてきた力を発揮する場が大きな行事になります。大切なことは、毎日、コツコツと目標に向けて努力していくことです。その毎日の努力の積み重ねが、自分に力を付けてできなかったことができるように成長していきます。2学期は、その成長のチャンスがたくさんあるのですね。

皆さんへのお願いは、この成長する2学期に自分の目標をしっかりとって努力をして取り組んでほしいということです。そして、自分にしか味わえない達成感と感動を体験してほしいと思います。皆さんならできます。自分を信じて、頑張ってくださいね。校長先生のお話はこれで終わります。

1学期の学校生活振り返りアンケートから

1学期末に、児童・生徒の皆さんに「1学期の学校生活振り返りアンケート」を実施しました。今回のアンケートの質問項目は、全部で15項目ありました。朝、各寮から学校に登校して授業を受けて、帰寮するまでの学校生活に関する内容になっていました。

その結果から分かったこととして、点呼場での大きな挨拶はしっかりできている人が多かったです。どの寮も昨年度よりも大きな挨拶ができていると感じます。

一方、登校前の持ち物確認や、授業後の机の中の忘れ物確認が不十分な人が多いという結果となりました。忘れ物があると授業で得られる知識を十分に獲得できなかったり、寮での復習が上手いかなかったりしてしまいます。しっかりと確認をして、より良い学校生活を送りましょう。

2学期も皆さんのさらなる成長を期待しています。

令和6年度 水泳部の活動 関東少年水泳大会

「水泳部として、代表として“覚悟”をもってください！」という言葉とともに、今年も水泳部がスタートしました。点呼場でメンバーの名前が呼ばれ時の「ハイ」という返事は、代表としてふさわしい大きく爽やかなものでした。みんなの意気込みがとても伝わってきました。

活動初日は、顧問の先生から「代表としての振る舞い」「支えてくれる人（推薦してくれた人）の思いを忘れない」「素直な姿勢で臨む」「最後までやり抜く事」というメッセージを自覚ではなく“覚悟してください”と伝えました。“学校でも寮でも代表として行動しなければならない”“厳しい練習に耐えられるのか？”という不安も感じたと思います。それでも生徒たちはこのメッセージをしっかりと受け止めて、初日からフルパワーで活動を開始してくれました。

プールサイドでの挨拶から、開始・終了の号令、練習中の返事もパワフルな声を出し、普段なら弱音が漏れてしまうようなメニューも「キツイ練習を楽しもう」という前向きな雰囲気を作り上げました。生徒一人一人が目標をもち、自分自身と向き合いながらも、周りの仲間をお互い支え合う姿はとても素晴らしかったです。

大会当日は、アリーナで開催されました。名前がコールされると、気合十分の「ハイ！」という返事。大きなスクリーンに映し出された生徒たちは、これまでの努力を自信に変えた、輝くような良い表情をしていました。応援席の生徒たちからの「ファイト！」というエール。水泳部が学年や性別を超え一丸となり、頑張り励まし合う姿は見ていて本当に気持ちの良いものでした。

今年は接戦につぐ接戦で、男女ともギリギリの戦いでしたが、女子総合第3位、男子総合第3位という結果でした。一人一人が自分の限界を超えてやり切り、その思いが一人でも欠けては成し得ない、価値のある成績であったと思います。

本当によく頑張った生徒たち、彼らは記録や泳力以上のものを得てくれました。

<生徒の感想文より>

- ・逃げたらそこで終わりだけど、逃げなければ何かしらの成果が返ってくるという事を学べた。
- ・きつい練習を耐え抜き、そこで仲間同士声を掛け合い、本番を迎えられたことがとても良かったです。自分は仲間の大切さについて学びました。
- ・頑張ったことは、練習を「やり切る」という事です。水泳の経験がなく右も左も分かりませんでした、何とか食らいつつこうと努力しました。ただ更に目標を設定し、もっと追い込めなかったことが反省です。この経験を自分のクラスや3年生として生かしていきたいです。
- ・自分はもともと声を出すのが苦手で、最初は嫌だなと思っていたのですが、自分を変えるために水泳部に入ったので、「嫌だと思った事でもやらないといけない」と思って声を出すことを頑張りました。
- ・水泳部で頑張って声を出していたのを、元のクラブでもやりたいと思います。
- ・泳ぎだけでなく「声かけ」「感謝の気持ち」などで成長できました。
- ・「一人一人の応援や支えや助け」の大切さを知った。
- ・自分の事しか考えられなかった自分でしたが、この経験を通して周りの人の事を考えられるようになりました。
- ・「絶対楽な方に行かない、弱い自分に負けない」と決め、精神的な面で強くなりました。そして「自分にもできた、やればできるんだ」と自信にもつながりました。
- ・水泳部の仲間を応援する声が、雰囲気がとても良かったです。

水泳部では、泳力や記録が伸びるだけでなく、学園での生活においても向上して行ってほしいと考えています。この水泳部での経験を自信に変えて、東小学校、東中学校での生活を頑張ってもらいたいと思います。各寮でのご指導等、体育の授業等お力添えいただきありがとうございました。